

研究テーマの各市実例等意見交換を行いました

第三回未来創造塾は、Aチームが8月30日(金)に、Bチームは8月21日(水)にそれぞれ開催し、今回は各チームの研究テーマについて各自治体の現状を報告することで情報共有を行いました。Aチームは研究テーマを3つ挙げているため、「子育て施策」は時間の関係上情報共有は次回となりました。



Aチーム



Bチーム

今回は冒頭に今後のスケジュールとして、「**11月中旬に別府市長をお招きして皆さんの研究テーマに沿った意見交換と講演会を行います!**」と申し上げたところ皆さん一気に気合いが入ったのか、かなり入念な意見交換になったようです。今回行った会議の内容(意見)は以下の通りです。

(Aチーム)

高齢者施策として、シニアアカデミーについては、参加者の減少と固定化が課題としたうえで、
◎高齢者の学びの場のあり方と圏域での交流促進◎高齢者の活躍の場を設けることでの地域経済の活性化 などさまざまなベクトルから今後高齢者が社会で活躍できる施策の方向性を引き続き研究していくこととし、**企業誘致**については、小さい市町では事業を進めるうえでマンパワーの不足と、圏域内で誘致が競合してしまうことが課題としてうえで、大工場を1自治体で誘致するより、複数店舗(オフィス)を構える企業を複数自治体で誘致する方法や、大企業を圏域の中核市で誘致し、圏域の市町はベッドタウンやレジャーの受け皿となることで役割分担をすることが事業の可能性として考えられるため、引き続き研究していく。

(Bチーム)

交通施策及び住民第一主義のまちづくりとして、各自治体での取り組みや、交通事情についても各々報告したうえで、その施策のターゲットを高齢者や若者など、層を絞って検討すべきか、また、最終的に市民の満足度を上げることが成果となるため、各自治体の総合計画がどのように関連施策について記載しているか確認する必要があることから、今後各自治体の総合計画を持ち寄り、テーマと研究内容の絞り込みを行うことと、自分たちが設定している研究テーマについて、逆に住民側が何を必要としているか今後整理していく。

ご覧のとおり研究テーマはもとより、**研究の進め方も違った手法で進めており**、さっそく各チームの個性が芽生えてきたことから、今後どのように政策を組み立てていくか非常に楽しみです。まずは皆さん、11月中旬の別府市長との意見交換に向けて、研究内容の土台を固めていきましょう!